



結進仕 団躍奉

鹿児島けんちく

発行所
社団法人 鹿児島県建築協会
鹿児島市城山町2-13
電話 099-224-5220 FAX 099-227-5479
http://www.kagoken.net/
E-mail:info@kagoken.net

謹賀新年

建設業回復への期待

社団法人鹿児島県建築協会 会長 前田 正人



明けましておめでとう
ございます。

皆様方には、ますます
ご健勝で新年を迎えられ
たこととお慶び申し上げ
ます。

平素から当協会の諸活
動に対し、温かいご理解・
ご高配を賜り厚く御礼申
上げます。

建築協会は本年四月に、
一般社団法人化を目指し
ておりますが、今年度が
社団法人鹿児島県建築協
会最後の年となります。

締め括りの年として当協
会の事業運営等悔いの残
らないよう全力で頑張っ
て参りたいと考えており
ます。

本年四月からは一般社
団法人として新たなスタ
トとなりますが、皆様方
には今後とも、当協会に
対しまして変わらぬ、ご指導
ご鞭撻をよろしくお願い
申し上げます。

さて、昨年を振り返っ
てみますと、一昨年暮れ
の安倍政権発足以来、日
本経済にもようやく明る
い日差しが差し込んでき
たのではないかとという気
がしますが、東京オリンピ
クの開催決定なども、建
設業界にとっては大きな
プラスとなることが期待
されます。

ただ、我々建設業界に
おいては手放しで喜べる
状況でないことも皆様ご
承知のことと存じます。

近年は、公共事業等に
対する政策の見直しによ
り、事業縮小等で、建設業
界は疲弊し、そこに従事
する技術者・技能者は転職
離職を余儀なくされ、そ
の数も激減しておりますし
た。そこに安倍政権の誕
生で、俄に公共事業等の
増加が始まり震災復興事
業とも重なり、各地で技
術者・職人不足等の問題
が発生しております。

以前から我々建設業界
は懸念しており、昨年の
本紙で「後継技能者の育成
」という問題に触れさせて
いただきました。

それが現実となり、平
成二十五年の工事も大
きく影響いたしました。

技術者・技能者の不足は
工期の遅れや価格の上昇
などを招き、多くの工事
で入札辞退や不調・不落
が発生いたしました。

今後は国、県の政策で
も取り上げて頂き、官民
共に連携し将来を見据え
た取り組みを実施してい
かなければ解決は中々難
しいものと思われま

さらに保険未加入問題
も大きな課題ですが、こ
れは、これまでの業界全
体の体質改善を図らな
ければ解決しない大きな課
題だと考えております。

今更で保険を掛けた
くても掛ければ、頑張り
てきた人達を簡単に切り
捨てることは難しく、育
て救いながら引き上げて
いく時間も必要なので
ないかと考えます。

平成二十六年度は建設
業界も大きな転換期に差
しかつて来るのではな
いかと考えております。

鹿兒島を代表する祭りの一つである鹿兒島神宮の初午祭
の様子。今年は二月二十三日(日)に開催されます。
(写真提供:霧島市)



工事が忙し忙しい業
界になることは結構な話
ですが、受注量は増えて
も利益の出ない「豊作貧
乏」とならないよう、これ
からは官・民ともに連携
して知恵を絞る、ダンピ
ング防止策の構築や、ま
た業界自身も節度ある受
注活動により適正な利益
率を確保して行かなけれ
ばならないと考えており
ます。

これからの、業界を支
えていく若手技術者や、
新たに業界に入ってくる
若者達のためにも、魅力
ある、将来に希望の持て
る業界へ変えて行かな
ければならず、そのため
も利益率の改善もなされ
なければいけないと考
えております。

業界へ差し込んだ明る
い日差しが期待通り「建
設業回復」に繋がるよう
念願しております。

最後に県民に信頼され
地域に貢献する建築協会
として会員一同頑張っ
て参りますので、関係ご当
局の一層のご理解とご指
導をお願いし、併せて皆
様方のますますのご健勝
ご多幸をご祈念申し上げ
年頭の挨拶いたします。

平成二十六年の新春を
迎え、謹んで新年のお慶
びを申し上げます。

鹿兒島県建築協会にお



建築業の発展に向けて

鹿児島県知事 伊藤 祐二郎



未来への布石 「豊かさ実感都市・かごしま」の実現

鹿児島市長 森 博幸



平成二十六年の新春を
迎え、会員の皆様にご
お慶びを申し上げます。

日頃から市政への温か
いご理解とご協力を賜り
おかげさまで市政が順調
に進展しておりますこと
に深く感謝申し上げます。

鹿兒島市は、今年、市制
施行百二十五周年、また合
併により新生鹿児島市が
誕生してから十周年とい
う大きな節目を迎えます。

これまで営々と築いてこ
られた先人の英知とご努
力に深く敬意と感謝の意
を表するとともに、この節
目の市政を預かる者とし
て、本市の限らない発展に
向けて着実な歩みを進め、
将来に引き継いでいく決
意を表します。

また、「社会に奉仕する
力強い地場産業を目指す
台風の被害の大きかった与
論での復旧支援をはじめ、
社会貢献活動等にも積極

意を新たにしていること
でございます。

さて、我が国は今、東日
本大震災からの復興、増税
と経済再生との両立をは
じめ多くの難しい課題に
直面しており、国において
は、成長戦略の実行など、
再生に向けた様々な政策
が進められようとしてお
ります。

また、景気は回復傾向に
あるとされており、さらに
は東京オリンピックの開
催決定なども相まって、国
民の間には未来への期待
が徐々に芽生えつつあり
ます。

こうした明るい兆しを
確かなものとするために
は、地方自治体においても、
自らの創意工夫と特性を
生かした取組を加速し、地
域の活力を高めていく、こ
とが重要であると考
えております。

本市では、市民生活を支
える機能性の高い快適な
まちを創造していくため、
より、景気が下振れするリ
スクが懸念されるところ
であります。

県内経済については、生
産は下げ止まり、雇用情勢
は改善の動きが見られる
など、持ち直しの動きが拡
がっております。

建築関係につきましては
も、新設住宅着工戸数が前
年を上回るなど、持ち直し
の動きが拡がりつつあり
ます。

建築関連業は、裾野が広
く、本県の経済や地域雇用
を支える上で大きな役割
を担っており、健全な建築
業の育成は、重要な課題で
あります。

県といたしましては、県
有施設を良質なストック
として長期間活用できる
よう、必要な整備を着実
に進めていくこととしてお
ります。

私としては、時代の状況
変化に的確に対応しなが
ら、「かごしま将来ビジョ

多様な都市機能を集約し
たコンパクトなまちづく
りに取り組むとともに、土
地区画整理事業などに、ぎ
わいとゆとりある生活環
境の整備を進めるほか、環
境や景観にも配慮した公
共施設の整備等も積極的
に行つてまいります。

また、国内外で大規模な
災害が相次ぎ、桜島の火山
活動も活発化する中、災害
時への備えをさらに強化
し、防災力の底上げを図る
など、市民の皆様が安全で
安心して暮らせる基盤つ
くりを進めます。

特に、建築物の地震に対
する安全性の向上を一層促
進するため、昨年十一月に
施行された「建築物の耐震
改修の促進に関する法律」に
より、大規模建築物の耐震
診断などが義務付けられ
ました。今後とも、耐震化
率の向上に向けた取組を
さらに推進していか
ねばならないと考えてい
るところでございます。

少子高齢化や人口減少
など、先を見通すことが難
しい時代ではあります。が、
今こそ進取の気風を持つ
て、本市の取組の一つと
つが、明るい未来への布石
となるよう全力を傾け、真
に「豊かさ」を実感でき
るまちを創造してまいり
たいと思います。

本年も市政の推進に、よ
り一層のお力添えを賜り
ますようお願いいたしま
すとともに、新しい年が夢
と希望の持てるすばらし
い年となりますよう心か
らお祈り申し上げます。新
年の挨拶いたします。

ンやマニフェストに基づ
き、「子どもからお年寄り
まですべての県民にとつ
て優しく温もりのある社
会」の形成を目指し、引き
続き、「力みなきる・かごし
ま」、「日本一」のくらし先
進県」の実現に向けて、全
力を挙げて取り組んでま
います。

皆様には、今後とも、更
なる技術力の研さんや一
層の経営健全化に努めら
れ、建築業界全体を牽引し
ていただき、質の高い建築
物の創造を通じて、県民に
安全で快適な生活空間を
提供するとともに、世界に
誇れる本県固有の素晴ら
しい街なみや景観づくり
にお力添えをいただきま
すようお願いいたします。

年頭にあたり、社団法人
鹿児島県建築協会のま
ますの御発展と、会員の皆
様の御健勝御活躍を心か
らお祈りいたします。

鹿兒島県建築協会にお

鹿兒島県建築協会にお

鹿兒島県建築協会にお

新年にあたって

鹿見島土木部長 栗原 淳



明けましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、健康な新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、かねてより、地域の建設業の健全な発展に大きく御貢献いただいておりますことに深く敬意を表しますとともに、奄美地方を襲った台風災害被災地支援などの地域貢献に御尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、本県では社会資本

新春を迎えて

鹿見島県土木建築技監 西園 幸弘



新年、明けましておめでとうございます。

平素より、建築産業の健全な発展にご尽力いただいておりますことに敬意を表します。

また、与論町を中心に住宅など大きな被害をもたらした台風被害の復旧に支援いただき感謝申し上げます。

さて、景気は緩やかに回復して、住宅着工戸数が前

新年のごあいさつ

鹿見島労働局長 井上 俊美



明けましておめでとうございます。

新年を迎え、社団法人鹿見島建築協会並びに会員の皆様のご繁栄を心よりお祝い申し上げます。

また、皆様には、日ごろから労働行政に多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、鹿見島県の雇用情勢は、県内景況が全体

既存ストックと向き合い、活かす時代へ

鹿見島市建設局長 上林房 行信



平成二十六年の新春を迎え、会員の皆様に謹んでお慶びを申し上げます。

昨年は、政府による大規模な財政出動など、様々な対策が進められたこともあり、少しずつではありますが、景気回復の兆しが見られた一年でございました。

建築分野においては、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」が十一月に施行され、不特定多数の者

支部だより

鹿見島支部副支部長 横村 満昭



以前は、ウォーキングと聞くだけで「もう良いですから」と断るぐらいでしたが、かつて「温泉めぐり」という題で投稿した際にも登場した温泉仲間が誘われたことがきっかけでウォーキングの要領や楽しさを知り、今では何の抵抗もなく参加しています。

ウォーキングに魅入られた大きな要因は、達成感が味わえるだけでなく、途中「もう辞めようか、もう辞めようか」と思ったり、励ましをくれる仲間や仲間を励ますこと、もう少し頑張ろうという気持ちにさせられる仲間意識だと思っています。

さて、四年前に妙円寺参りに誘われて以来、年二回から三回ほどウォーキング大会に参加

『おもてなし』マラソンへようこそ

南薩支部支部長 濱田 信行



新年明けましておめでとうございます。

昨年の流行語大賞のひとつに「おもてなし」が選ばれた。日本人の人情が、よく表れている素敵な言葉だと思ふ。

さて、手前みそではあるが「おもてなし」と言えば、指宿も力を入れている町であると自負

を心から喜び、自分のできる何ができないかと多くの人がボランティア、差し入れ応援等いろいろな形でおもてなし魂を奮揮する。ランナーの中にはゴールすると体重が増加するという不思議な現象も起きています。

市民はみな、人の喜ぶ顔が見たい。おもてなしの心は誰もが持っている自然の思いなのかもしれない。

さて、私にとっても新年の幕開けでもある菜の花マラソンは、たくさんの方の笑顔が見られる大切で楽しみなお祭りだ。今年も、このお祭りを皮切りに、おもてなし魂を大切に、多くの人との出会いを大切に、実りある素敵な一年としたい。

晴れの受賞 心から お祝い申し上げます



平成二十五年秋の褒章に際し、十一月十三日国土交通省に於きまして大臣より褒章の記・褒章の伝達を受け、引き続き皇居に参内し、豊明殿におきまして、天皇陛下に拝謁の栄誉とともに、お言葉まで賜り、感激の極みでございました。これもひとえに、皆様

内門 一郎 (株)内門工務店

国土交通大臣表彰



川井田 哲 (株)川井田組
昨年は当協会より推薦を頂き、栄えある国土交通大臣表彰に拝することができ、会員の皆様には心から感謝申し上げます。七月十日、東京霞が関の合同庁舎内国土交通省大会議室にて太田大臣から代表者に表彰状が手渡され、私も身が引き締まる思いでした。これを契機に建設業の再発展に皆様と一緒に邁進していきたく思いますので、今後も変わらぬご厚情・ご鞭撻をお願い申し上げます。

新入会員紹介 (平成25年4月1日より入会)



奄美支部
吉田 昌重
吉田建設(株)

よろしくお祈りいたします

建築協会安全スローガン

見逃すな 慣れたら怖い 危険予知(タテ) 育てよう 職場で取り組む 安全意識(ヒト)

年男・年女のコーナー

二〇一四年

還暦に思う

(株)吉見工務店 吉見 忠通



早いもので五回目の年男(還暦)を迎えることになりました。幼い頃は六十歳(六十年)と聞くと気の遠くなるような年月を想像していましたが、いざ自分がその年齢になってみると、実感が湧かないのが正直なところ。さて、現在は、インターネットがあり、図書館や本屋などに行かずとも自宅に居ながらにして自分が生まれた年の出来事が検索できる便利な時代です。そこで、私が生まれた昭和二十九年について検索したところ、高度経済成長期のはじまりといわれる

年男を迎えて

(株)黒松製材建設 黒松 正大



新年明けましておめでとうございます。皆様方にはますますご健勝で新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。今回、原稿の依頼をいただきまして「うむ」としておこころ改めて月日の速さを実感し、

年男を迎えて

(株)宇都組 宇都 孝洋



新年あけましておめでとうございます。横綱は、私共一人一人にチャッコを盛り付けてくれ料理を勧め、くれ、気やすく話をしてくれるのが多く、なにより、横綱は心・技・体とそろわなければ維持できないといわれ、日本人より日本人らしい心の自覚が、今年も怪我がなく優勝を重ねて大鵬さんの三十二回の優勝記録に追いついてほしいものです。

学校も建築関係には進まず、大学を卒業する直前まで異業種での就職を決めていました。ところが急に帰郷することになり、早いもので二十数年が経ってしまいました。まったく何の知識もなく現場に飛び込み、いろんな方に迷惑をかけたが、たくさんの方に教えられ、助けて頂いたおかげで、今日がある深く感謝しております。

昭和十七年生まれ
吉田 昌重
吉田建設(株)

昭和二十九年生まれ
今村 次典
株堀之内建設

昭和四一年生まれ
中池 君子
株中池組

昭和四一年生まれ
堀之内 広高
株堀之内工務店

昭和五三年生まれ
宇都 孝洋
株宇都組

馬に関する豆知識

今年十二支の七番目であるうま年ということ、一面には鹿児島神宮の初午祭の様子を掲載しました。今年二月二十三日に開催された初午祭、旧暦一月十八日を過ぎた今年二月二十三日に開催された初午祭、足と運んで、綺麗に装飾された馬のかわいらしいステップをご覧になられた方が多いでしょうか。顔の左右に目がついているので、視野が三〇〇度もある。日本の在来種は八種類である。うち一種類は鹿児島県トカラ列島で飼育されていたトカラ馬である。ちなみに、トカラ馬の体高は一〇〇〜一二〇cmで在来馬の中でも最小クラスでポニーに分類される。また、一九五三年に鹿児島県の天然記念物に指定されている「ポニー」は特定の品種をさすわけではなく、肩までの高さが一四七cm以下の馬の総称である。神様が乗る神馬を奉納する習わし「馬の絵を描いて代用する絵馬」となり、絵に願いごとを書いて奉納する絵馬の由来である。最後に、今年一年、皆様ウマウマですように！

昭和十七年生まれ
吉田 昌重
吉田建設(株)

昭和二十九年生まれ
吉見 忠通
株吉見工務店

昭和四一年生まれ
川井田 哲
株川井田組

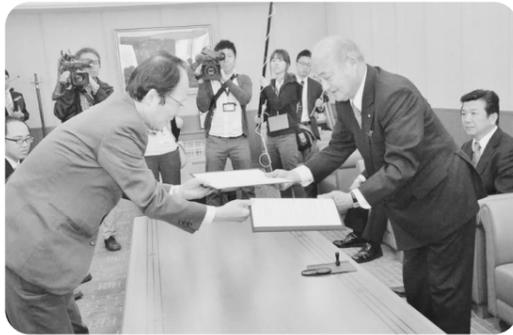
昭和四一年生まれ
芳井 みどり
株一八建設

昭和五三年生まれ
今村 壮一
株丸栄建設

経費等積算技術▶
研修会
(10月3日)



協会の動き



◀鹿児島県との「災害時における木造応急仮設住宅の建設」に関する協定書調印式(3月22日)



◀鹿児島県との協議会
(10月9日)

木造住宅耐震診断員▶
養成講習会
(5月16日)



▼労務委員による安全パトロール北薩地区
(10月23日)



第52回通常総会▶
(5月24日)



▲2013かごしま住まいと建築展(10月26日~27日)

与論町へブルーシート目録贈呈式(11月11日)▶



一般社団法人鹿児島県林材▶
協会連合会との「災害時における木造応急仮設住宅の建設」に関する覚書調印式
(7月29日)



▲公共事業の適切な執行に係る意見交換会
(11月27日)

▼建築の日ボランティア
〈担当:建築協会各支部〉
(9月21日)



二月
・建設業無災害運動月間
説明会

三月
・各委員会

協会の 主な行事予定

平成二十六年

新春建築四団体合同賀詞交歓会

新春恒例の「新春建築四団体合同賀詞交歓会」が一月六日城山観光ホテルにて開催されました。初めに主催者を代表して建築士事務所協会林会長が挨拶をし、来賓祝辞を頂き、来賓や各団体会長がハッピーを着て鏡開きが行われ、電設協会畠田会長の乾杯発声の後、出席者はしばし歓談をしました。

今年で二十六回目を迎えた交歓会では来賓をはじめ建築四団体会員が多数出席し、盛大な催しとなり新年の門出にふさわしい輝かしい幕開けとなりました。



安全祈願祭 第三十七回安全大会

労務委員会の事業の一環である安全祈願祭及び第三十七回安全大会が鹿児島県護国神社にて開催され、約百名が参加しました。

厳かに執り行われた安全祈願祭では、来賓・建築専門業団体・建築協会の代表が玉串を奉げ安全を祈願しました。

その後、場所を講堂に移し、建築協会会長の挨拶で始まった安全大会では各種表彰の授与や来賓の方々より祝辞を賜った後、大会宣言をもって締めくくられ今年一年の無事故・無災害を誓い合いました。

各種表彰者の受賞は次の通りです。
(敬称略)

☆平成二十五年度厚生労働省労働基準局長表彰
厚生労働省労働基準局長
無災害記録表彰
該当者なし

☆平成二十五年度建設業労働災害防止協会会長表彰

☆平成二十五年度社団法人鹿児島県建築協会会長表彰
長表彰

功労賞……三名
須田 正己
(株)須田建設工業
山下 耕一郎
(株)末廣組
末廣 浩二

☆平成二十五年度建設業労働災害防止協会会長表彰
長表彰

功労賞……三名
須田 正己
(株)須田建設工業
山下 耕一郎
(株)末廣組
末廣 浩二

優良賞(事業場賞)
功績賞……六名
坂口 富男
内村建設(株)
山下 哲郎
曾山建設(株)
脇 利伸
大塚建設(株)
今村 浩二
(株)富士建設
松田 誠
(株)宇都組
瀬戸口 由幸
小牧建設(株)

安全衛生管理優良賞
……三現場
前屋敷組・末廣組特定
建設工事共同企業体
工事名:鹿児島養護
学校移転新設(特別
教室)工事
(発注者:鹿児島県)
萩原建設(株)
工事名:中央公民館
内部改修その他工事
(発注者:鹿児島市)
福永建設(株)
工事名:始良・伊佐地
域振興局本館耐震補
強
(発注者:鹿児島県)



新年のご挨拶

社団法人鹿児島県建築協会

青年部会 部長

有村 幸光



新年明けましておめでとうございます。本会の前田会長をはじめ会員の皆様におかれましては、平素より青年部会活動に對しまして、

多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。平成二十五年度も終盤に差し掛かり、また、二十六年度へ向け展望

も早く会員増強を達成するために本会(親会)の皆様のお力を是非とも頂き、青年部会を盛り上げ、数年後の青年部会創立二十周年を多くの青年部会員の仲間と共に迎えられることを願っています。

これからの青年部会は、諸先輩方が築いて来られた良き伝統を受け継ぎ、かつ、これからの時代を生き抜く為「元氣集団」を目指し、

青年部会会員募集

青年部会では会員を募集しています。詳細については、建築協会事務局までお問い合わせ下さい。

新入会員です

よろしく
お願いします!



(株)末廣組
山下 結城
活動委員会

総務・IT委員長

川崎 啓二



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

先輩理事の皆様や会員の皆様にお力添え頂き、今年度も勉強させて頂きました。当委員会事業として、四月の総会・懇親会の運営・六月に会員手帳の更新・2000誌の発行、三県合同IT研修会と、青年部会の総務の仕事に携わる事が出来ました。残すところは臨時総会・懇親会の運営、2000誌春

号の発行です。青年部会の会員が減少する中、部長、理事の方々を先頭に会員全員の集まり、結束を大事にしてきた一年だった気がします。

会員研修委員長

内山 吉二



新年あけましておめでとうございます。

携わらせて頂き多くの出会いや修練の場を戴きました。心より感謝申し上げます。

今年度当委員会の事業としては、三県合同懇談会の主管団体として川内原子力発電所視察、懇談会の運営を実施いたしました。

青年部会を創出すべく努めて参りますので、会員皆様方のご指導お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

活動委員長

宇都 孝洋



新年あけましておめでとうございます。今年度の活動委員会事業目的は「今後の建築業界の活性化につながる若手育成の補助」を目的とした活動をおこなってまいりました。

例年行われている「かごしま住まいと建築展」に参加し、ブース出展、カンナ削り、県内工業学生の招待ならびに討

論会を開催させていただきました。討論会は初めての試みでしたが、県内工業学生の建築業に対するイメージ、不安に思っていることなど貴重な意見を聞くことができたと同時に活動委員会としての今後の道筋を決めるヒントをいただくことができました。

かごしま住まいと建築展学生招待 討論会(活動委員会)(平成25年10月27日)



三県合同IT研修会(総務・IT委員会)(平成25年4月19日)



定時総会(総務・IT委員会)(平成25年4月22日)



三県合同懇談会(会員研修委員会)(平成25年11月15日)



かごしま住まいと建築展学生招待 討論会(活動委員会)(平成25年10月27日)

